

※ 今週のアウトルック(5/7~5/10)

先週は、非常に大きな動きとなりました。

ドル円に関しては、月曜日に160円台を付けた後、金曜日には151円台まで下落しました。

今週はFOMC、米国雇用統計の発表を消化して、ある程度方向性を見出したい所ですが、FRBからは米国雇用統計の結果とは相反するようなコメントも出されており、今後の展開に対する予測がより難しくなったように思います。

先週のドル円は、月曜日に160円台に到達したのち、金曜日には151円台まで下落しました。米国雇用統計の悪化により債券利回りの低下が影響したようです。

今週に入り、再び日米金利差にマーケットの注目が集まっているようで、ドル円は少しずつ上昇しています。

ただ、相変わらず日銀の介入に関する警戒感は強いようで、節目以上の上昇はなかなか難しいようです。

ドル円の予想レンジは152円から159円です。

ユーロ円は先週、月曜日に171円台まで上昇したものの、水曜日には164円付近まで下落して、そのまま週末を迎えました。

今週は再び金利差に注目が集まり上昇していますが、日銀の介入に対する警戒感は相変わらず強いように思います。

ユーロ円の予想レンジは162円から169円です。

ポンド円もドル円に合わせた動きとなっています。

ポンドドルの巻き返しが強まっているため、ドル円よりも上昇速度は早いかもしれません。

ポンド円の予想レンジは190円から198円です。

米国雇用統計の結果に対する認識とFRBのマーケットに対する認識が異なるため、今後の予測が非常に難しいものとなっています。

要人発言には引き続き注意が必要のように思います。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。